

## 理論編

### - 子育て支援プログラムを活用して不登校を予防する -

#### 1 家庭の教育力の向上

家庭を一つの組織（システム）と考え、システムがもともと持っている力を機能させましょう！

家庭の教育力が低下していると叫ばれています。不登校問題を始め、子どもの問題行動の多くは、家庭の教育力の低下がその大きな原因ではないと言われる場合があります。確かに子どもにとって最も影響力があるのは、家庭であるかもしれませんが、家庭の教育力を回復することは無理なのでしょうか。どうしたら向上させることができるのでしょうか。

家庭の教育力は、家庭としてのシステムの中で、親が子どもとかかわる過程で、自然と育まれていくものです。子育て支援セミナーは、家庭の教育力を高めるための、きっかけ作りの場です。つまり、家庭がもともと持っている力を機能させるきっかけの場です。セミナーで学んだことを生かして、保護者が子どもとかかわり方のプランを立てることが目的です。

例えば、参加した保護者の方が、「自分自身の心にゆとりをもつ努力をしていく」「子どもと共に語り合える時間を大切にする」「子どもの話を耳を傾け、分かってやる」等のプランを立てることができました。このように、保護者が子どものメッセージに気づき、自分の子育てを振り返り、親子のきずなを深めることを、セミナーを通して支援することができます。



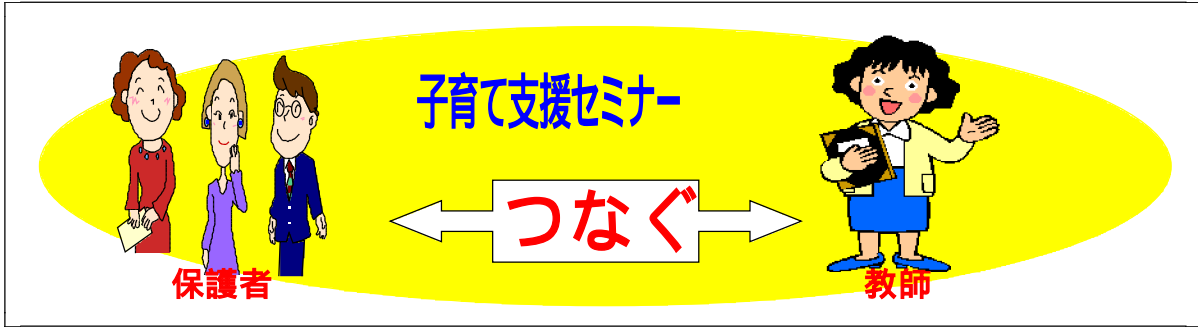
家庭の教育力に関する調査【 <http://www2.center.gsn.ed.jp/houkoku/2002s/kateikyoku.pdf> 】

子育て支援セミナーをきっかけに、保護者と教師のシステムを作しましょう！

家庭を一つのシステムと捉えるのと同じ発想で、子育て支援セミナーもシステムと捉え、保護者と教師がかかわり、子育てという課題の解決に向かって、システムを機能させましょう。

子どもが大きな問題行動を起こしてから対処するような対症療法ではなく、将来子どもが直面するであろう課題に備えて、必要な準備をしておくことが必要です。それをするのが、保護者と教師をつなぐシステムです。子育て支援セミナーをきっかけに、そのシステムを機能させましょう。

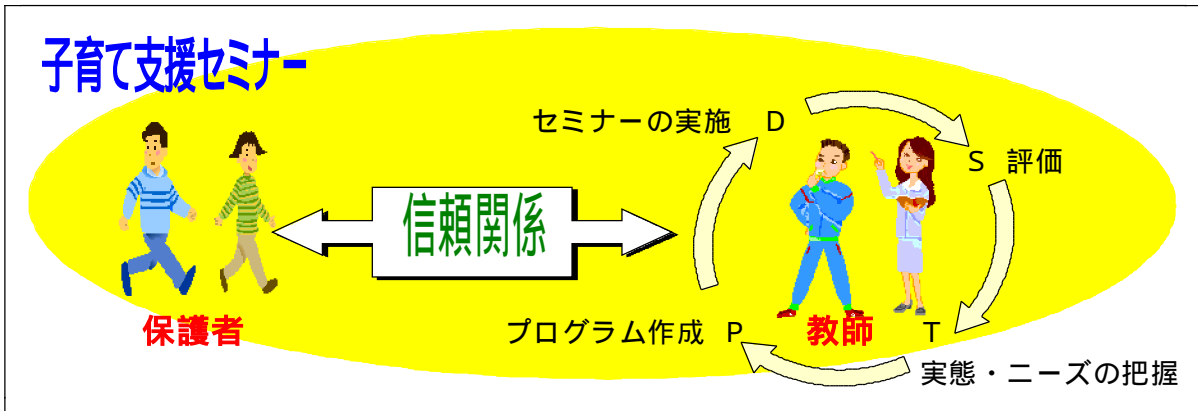
子育て支援セミナーに参加した保護者から、「又、このようなセミナーをもってもらいたい。」「参加者全員が心からうちとけられる雰囲気づくりをしていただいた上での様々な投げかけに、楽しく、真剣に考えることができました。ありがとうございました。」と言った言葉をいただきました。保護者に感謝され、保護者と教師をつなぐシステム作りの第一歩となりました。



## 2 家庭の教育力の向上のモデル

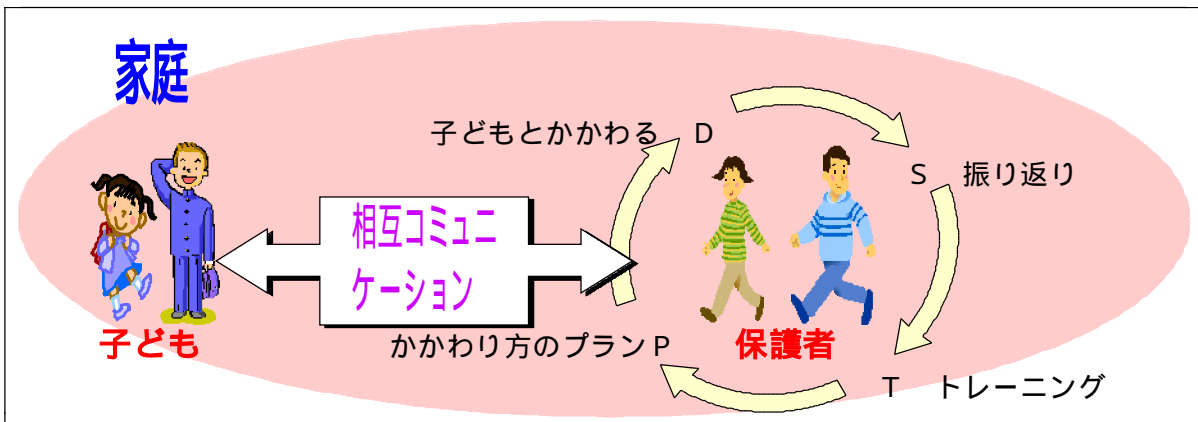
教師の問題問題解決能力を高めて、不登校を予防しましょう！

教師は、セミナーを企画すること（プログラム作り）を通して、課題解決の思考過程（ピアサポートモデル）を学び、**問題解決能力** を高めることができます。セミナーの場で、保護者と共に学び合い、分かり合う関係を築くことで、教師と保護者が信頼関係でつながります。



家庭の教育力を高めて、不登校を予防しましょう！

保護者は、セミナーに参加することで、子どもの気持ちに立った対応の仕方を体験や事例を通して学びます。学んだことを生かして、子どもとのかかわり方のプランを立て、子どもとかがわります。子どもが「わかってくれた」と感じることで、親子の間に相互コミュニケーションが成立します。子どもとかがわりながら、子どもへの支援の仕方を考える思考過程を繰り返すことで、**家庭の教育力**が高まります。



子育て支援セミナーを实践して、保護者が子どもの気持ちを「わかって」としていることを実感しました。しかし、子どもに何かあった時、「どうしたの?」と聞くことはできるのですが、それから先の共感的なかわり方ができていない実態に気がきました。子どもの気持ちを理解する言葉、例えば「されるとさみしいよね」等の言葉かけをされることで、子どもは親に「わかってもらえた」と思うのではないのでしょうか。

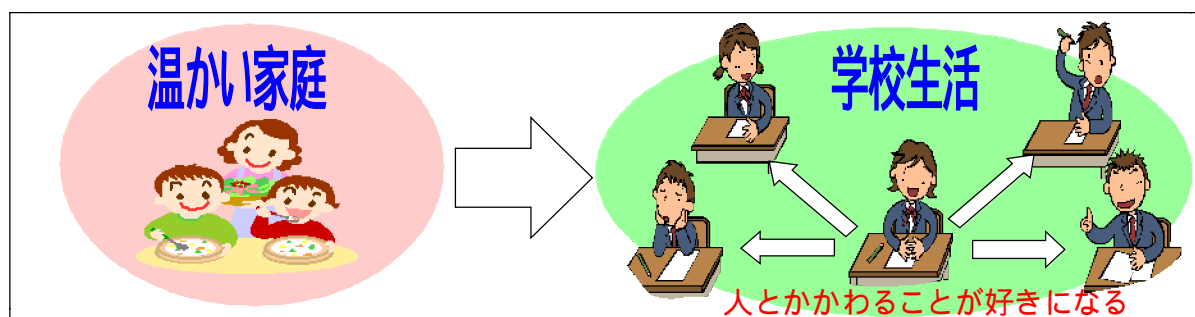
家庭教育は、親と子どもの相互理解を実現しようとする営みです。子どもの気持ちを理解するためには、まずは子どもの出しているメッセージに気づくことが大切です。例えば、口数の少ない子どもを見て、今日は元気がなさそうだと判断するだけでなく、なぜ元気がないのか、その背景まで理解しようとする必要があります。そして、子どもが発信したメッセージという「情報」を転換して、「されるとさみしいよね」などといった言葉を子どもに返してあげることで、子どもは「わかってもらえた」と思います。

相互理解とは、子どもがメッセージを親に送って（無意識だとしても）理解されようとし、親も子どもの気持ちを理解しようとしている時に成立します。このような双方向的な理解が行われる状況（コミュニケーションシステム）が成立するような家庭を築けるよう、支援していきましょう。



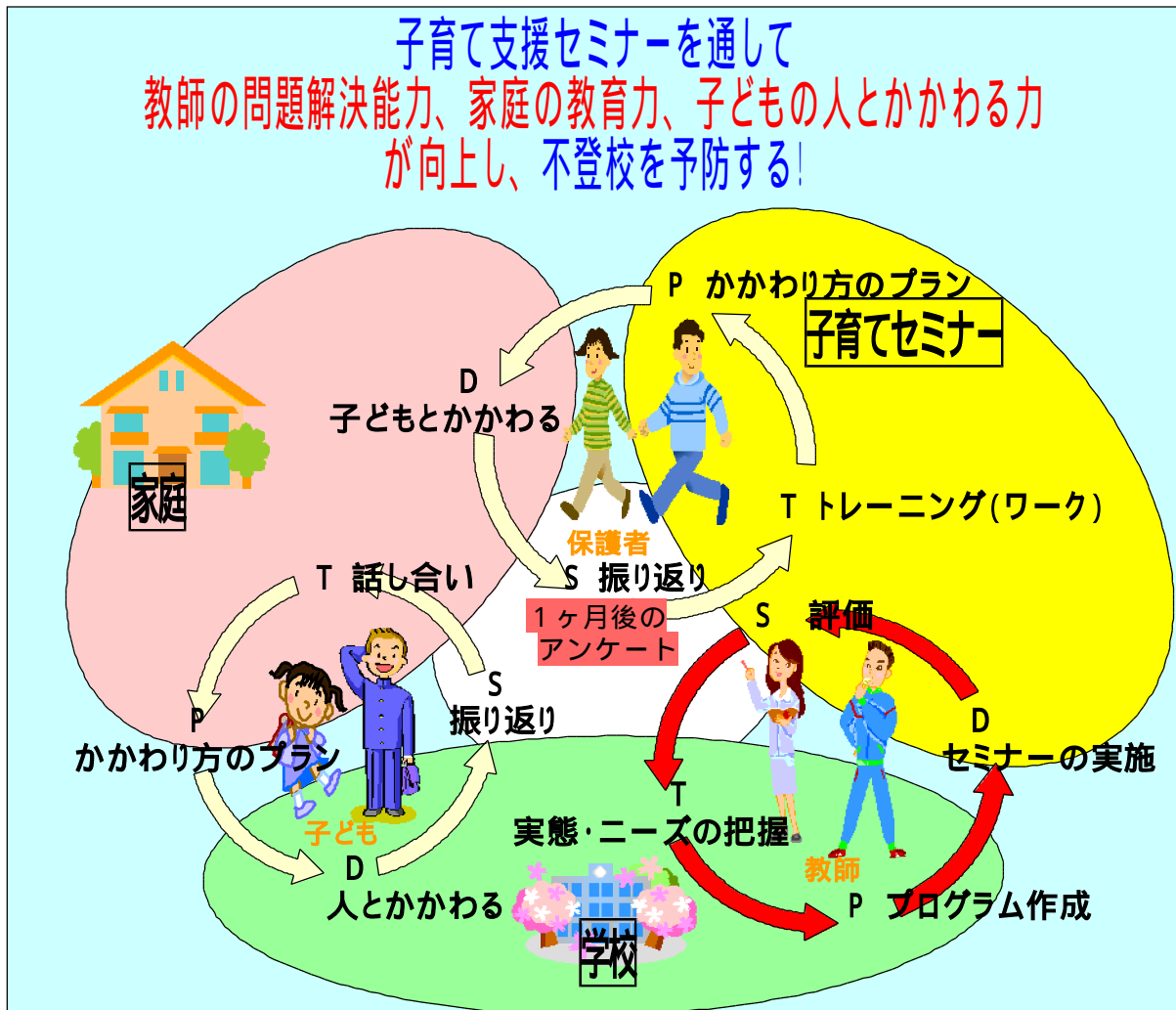
### 子どもの人とかかわるを育てて、不登校を予防しましょう！

子どもは、「わかってくれた」と思える温かい家庭（愛情）で守られることで、情緒が安定し、困難に立ち向かったり、直面する課題を解決したりする力を身につけていきます。そして、学校生活において、人（友達や教師）とかかわることが好きになり、**人とかかわる力**が育ちます。



子育て支援セミナーで、それぞれの力を高めて不登校を予防しましょう！

子育て支援セミナーをきっかけに、教師の問題解決能力、家庭の教育力、子どもの人とかかわる力、それぞれの力が向上し、不登校予防につながります。



### 3 子育て支援セミナーの活用例

保護者参加型の子育て支援セミナーは、学級懇談会ではありません。学年合同懇談会として実施すれば、学年を組む先生と協力できるので、心強いのではないのでしょうか？

又、子どもへのかかわり方を学ぶ場として、校内研修で実施することも考えられます。研修主任の先生はぜひ活用して下さい。さらに、PTAセミナーとして実施する場合は、総合教育センター教育相談グループに連絡していただければ、スタッフが訪問して実施することもできます。

#### 保護者参加型の子育て支援セミナーの活用例

学級懇談会

学年懇談会

学年親子行事

PTAセミナー

校内研修